



## 「アトピー<sup>せいひ</sup>性皮ふ<sup>びょうき</sup>えん」って、どんな病気なの

### 「アトピー<sup>せいひ</sup>性皮ふ<sup>せいひ</sup>えん」とは

「アトピー<sup>せいひ</sup>性皮ふ<sup>せいひ</sup>えん」とは、アトピー<sup>せいひ</sup>性体質<sup>せいいたいしつ</sup>をもった人<sup>ひと</sup>の皮ふ<sup>ひ</sup>に、家<sup>いえ</sup>の中<sup>なか</sup>のほこり、ダニ、カビ、花粉<sup>かふん</sup>、動物<sup>どうぶつ</sup>の毛<sup>け</sup>、人<sup>ひと</sup>のあかなど、しげきのある物<sup>もの</sup>かふれたり、ときには、食べ物<sup>た</sup>などによって、皮ふ<sup>ひ</sup>が強く<sup>つよ</sup>反応<sup>はんのう</sup>してできる、しっしんのことです。

アトピー<sup>せいひ</sup>性体質<sup>せいいたいしつ</sup>というのは、生まれつき<sup>う</sup>もっている、遺伝<sup>いでんてき</sup>的なアレルギー<sup>ぶっしつ</sup>（ある物質<sup>たい</sup>に対して<sup>お</sup>起こる強い<sup>つよ</sup>反応<sup>はんのう</sup>）体質<sup>たいしつ</sup>のことです。

「アトピー<sup>せいひ</sup>性皮ふ<sup>せいひ</sup>えん」は、赤ちゃん<sup>あか</sup>から、高校生<sup>こうこうせい</sup>ぐらいまでの人<sup>ひと</sup>にととても多く、とてもかゆい皮ふ<sup>ひ</sup>病<sup>びょう</sup>です。ただし、人<sup>ひと</sup>にうつったりしません。

また、お医者<sup>いしや</sup>さんの治り<sup>ち</sup>ようで、根気<sup>こんき</sup>よく治り<sup>ち</sup>ようすれば、病気<sup>びょうき</sup>は楽<sup>らく</sup>になります。

### 「アトピー」は生まれつき<sup>う</sup>もっている体質<sup>たいしつ</sup>

「アトピー」というのは、ラテン語<sup>こ</sup>で、「きみ<sup>はんのう</sup>ような反応<sup>はんのう</sup>をする」、「生まれつき<sup>う</sup>もっている性質<sup>せいしつ</sup>」ということです。

家<sup>いえ</sup>の中<sup>なか</sup>の、ほこりなどを吸<sup>す</sup>ったり、さわったりすると、ふつう<sup>ひと</sup>の人<sup>なん</sup>は何<sup>ひ</sup>でもないので、ある人<sup>ひと</sup>だけが、息<sup>いき</sup>が苦<sup>くる</sup>しくなったり、鼻<sup>はな</sup>がぐしゅぐしゅしたり、皮ふ<sup>ひ</sup>がかゆくなったりすることがあります。そうゆう<sup>じょうたい</sup>状態<sup>じょうたい</sup>になりやすいのが、アトピー<sup>せい</sup>性の体質<sup>たいしつ</sup>の人<sup>ひと</sup>です。

この性質<sup>せいしつ</sup>をもっているのは、人口<sup>じんこう</sup>の約<sup>やく</sup>4分の1<sup>ぶん</sup>くらいの人<sup>ひと</sup>だといわれています。

（監修・保志 宏）

